

合併 10 周年を目前に控えて

6月6日から17日まで、平成26年第2回長島町議会定例会が開かれ、川添健町長が「平成26年度施政方針」を述べました。その一部を抜粋し、お知らせします。



↑定例会で施政方針を述べる川添健町長

夢と活力があり、福祉の充実したまちづくり

私は、この度の長島町長選挙におきまして、無投票での再選をさせていただき、引き続き3期目の町政を担うことになりました。皆様がたからいただきました信託の重さを改めて実感し、その信頼と期待にお応えするため、決意を新たに全力を尽くしてまいる所存でございます。

私は合併以来、「夢と活力があり福祉の充実したまちづくり」を政策目標として、旧両町間の融和を図り、地域の均衡あ

る発展のために、各種の施策に懸命に取り組んでまいりました。

公共事業の積極的な導入による道路や港湾など社会資本の整備促進や、農業・漁業など産業の振興、そして、ぐるっとフラワーロードの整備とイベントの開催による交流人口の増加など、様々な施策の実施により、確かな手応えを感じているところであります。引き続き「夢と活力があり福祉の充実したまちづくり」に全力で取り組んでまいります。

「夢」のあるまち

その中で、「夢」についてでございますが、島原・天草・長島三県架橋と獅子島架橋の推進をはじめ、西回り自動車道や空港道路の整備促進では、阿久根北での接続に努力してまいります。さらに、オンリーワンのまちづくりとして、「ぐるっとフラワーロード」の整備を進めてまいります。

獅子島架橋につきましては、平成23年度に「夢追い獅子島架橋基金」を創設し、夢の実現に向けて第一歩をスタートいたしました。30億円の積み立てを目標に、年間1億円、30年の予定でございますが、平成25年度末で、5億5000万円の積み立てとなっており、1年でも早く達成するために今後も努力してまいります。

また、町全体が一丸となって取り組んでおります「ぐるっとフラワーロード」の整備につきましては、町内外から高い評価をいただいております。今後成果を収めつつあります。今後

「活力」のあるまち

は、一家一花運動とも連動いたしまして、路傍と家庭の統一感のある景観づくりを図るなど、さらなる努力により、世界にも通じる花のまちづくりを目指してまいります。

次に「活力」についてでございます。長島町においては、農業・漁業を中心とした第一次産業の振興が最も重要であります。農業では本町の主要作物でありますバレイショの価格が低迷しており、野菜価格安定制度の保障基準の見直しについて、管轄する農林水産省に要望し、前向きな回答をいただいております。漁業では主要産物であります養殖ブリに明るい兆しが見え始め、新しい加工場の整備も図られ期待されつつあります。

また、活力あるまちづくりにあはれは農漁業など二次産業と連携した観光の振興と、それに伴う交流人口の増加が不可欠であります。

「ぐるっとフラワーロード」